



記念フォーラム

# 日本刀の生き残りをかけて

## with 添田一平サイン会

「エヴァンゲリオンと日本刀展」「二次元 VS 日本刀展」など、近年の現代刀界は、次世代に伝統を伝えるための活動に刀匠自ら取り組んでいます。このフォーラムでは、思い切った企画や異業種とのコラボに取り組んでいる新進気鋭の刀匠たちや仕掛け人に、その熱い思いを語ってもらいます。

刀匠

川崎晶平

(Akihira KAWASAKI)

1968年大分県生まれ。明治大学卒業後、宮入小左衛門行平師に入門。現在埼玉県で作刀する。連年各種コンクールの上位賞に名を連ねる、押しも押されぬ現代刀界のエース。



装剣金工

木下宗風

(Sofu KINOSHITA)

1968年岡山県生まれ。転職により装剣金工・刀身彫刻の世界に入る。数少ない装剣金工として多忙を極める中、近年の「エヴァ刀」などの試みによる異風作品の依頼に顔を悩ませる日々が続く。



平成26年11月29日 土

午後1時30分～3時30分(フォーラム)  
終了後サイン会 ※受付は午後1時から

【定員】250名(事前申し込み)

【参加費】300円

(特別展観覧券もしくは半券提示の方は無料)

【会場】大阪歴史博物館 4階講堂

地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・③号出口  
大阪市営バス「馬場町」バス停前

申込方法

往復はがきに住所、氏名、連絡先電話番号、ならびにフォーラムで聞きたい話題がありましたら併せてご記入ください。(フォーラム進行の参考とさせていただきますが個別には回答しません)返信面に返信先を記入し、下記あてに申し込んでください。

※はがき1枚につき申込者1名に限ります。※応募多数の場合は抽選。

締切：11月10日(月)当日消印有効

応募先：〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

大阪歴史博物館「日本刀フォーラム」係

問合せ先：大阪歴史博物館 電話 06-6946-5728

ホームページ：<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

※サイン会へのご参加は、本フォーラム参加者で「二次元 vs 日本刀展」図録持参の方に限らせていただきます。図録以外へのサインや、サイン会のみのご参加はご遠慮ください。

刀匠

月山貞伸 (Sadanobu GASSAN)

1979年奈良県生まれ。大学入学と同時に、月山貞利師に入門。若手ながら受賞歴も多数。山形・月山鍛冶の末裔という伝統を背負いながらも伝統に甘えず、新時代へのチャレンジを模索する、現代刀界のホープ。



刀匠

高見國一 (Kuniichi TAKAMI)

1973年兵庫県生まれ。高校卒業後河内國平師に入門。備前伝の探究を続ける一方、講演や実演にも積極的な行動派。通信教育で学芸系大学の現役大学生でもあり、現在学士号取得に向けて奮闘中である。



全日本刀匠会事業部

坪内哲也

(Tetsuya TSUBOUCHI)

1959年岡山県生まれ。横井崇光師に入門。刀匠祐忠として受賞歴もあるが、近年は、全日本刀匠会事業部のトップセールスマンとしての活躍が目立つ。刀剣製作に欠かせない木炭生産技術の保存やたたら技術の保存活動にも深く携わる、刀匠会のブレン。



Special guest!  
イラストレーター

添田一平 Ippei SOEDA

福岡県出身。歴史書の挿絵やトレーディングカードのイラストなどを手がけ、時代考証に基づいた絵を得意とする。二次元 vs 日本刀展では林原美術館の甲冑や短刀をモチーフにしたイラストを出品。

「池田家の女」

